

内令第千六百十三號

昭和十六年内令第千四百八十一號中「機關特務中少尉、機關兵曹長 附 一人」ヲ「機關特務

中少尉、機關兵曹長 附 一人」ニ、「書記 附 兼務一人」ヲ「看護兵曹、看護兵

兵 曹長 附 兼務一人」ニ改ム

兼務一人」ニ改ム

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ大阪警備府ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千六百十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設掃海艇多摩丸、大井丸

増員

内令

一七四

0766

機關兵曹、機關兵

一人(掌電機兵)

減員

機關兵曹、機關兵

一人(掌機兵 内火)

内令第六百十五號

當分ノ間、左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設水雷母艦神祥丸

機關兵曹、機關兵

九人(掌機兵〔高機四二〕
〔普機四二〕)

内令第六百十六號

昭和十六年内令第六百十七號中左ノ通改正シ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0767

別表第一横須賀鎮守府ノ部中横須賀防備隊ノ項兵科分隊長ノ欄「三」ヲ「五」ニ改ム

同吳鎮守府ノ部中佐伯防備隊ノ項兵科分隊長ノ欄「三」ヲ「六」ニ改ム

同佐世保鎮守府ノ部中馬公防備隊ノ項兵科分隊長ノ欄「二」ヲ「五」ニ、羅津防備隊ノ項兵科分隊長ノ欄「一」ヲ「二」ニ改ム

別表第二横須賀鎮守府ノ部中加茂川丸ノ項ノ次ニ

神	祥	丸	砲	一						
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

ヲ、金剛山丸ノ項ノ次ニ

長	安	丸		一						
長	江	丸		一						
明	治	丸		一						一

ヲ、白沙ノ項ノ次ニ

山	鳩	丸								一
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	---

ヲ加フ

同吳鎮守府ノ部中盤谷丸ノ項ノ次ニ

清	澄	丸	通	一						
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

ヲ、山彦丸ノ項ノ次ニ

内令

一七四三

0768

内令
要
登
載

内令

一七四四

同佐世保鎮守府ノ部中白山丸ノ項ノ次ニ

香 港 丸	一							一
-------	---	--	--	--	--	--	--	---

ヲ加フ

浦 上 丸	一							
-------	---	--	--	--	--	--	--	--

ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位階ヲ定ムルノ件ナリ

内令第六百十七號

當分ノ間海軍工廠、海軍火藥廠、海軍燃料廠、海軍航空技術廠、海軍航空廠及海軍技術研究所ニ造船科造機科造兵科中少尉ヲ副部員、副所員又ハ副廠員トシテ臨時増置スルコトヲ得

昭和十四年内令第四百一號ハ之ヲ廢止ス



昭和十六年十二月九日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

参照 廢止内令ハ當分ノ間各海軍工廠等ニ造船科造機科造兵科中少尉ヲ副部員又ハ副所員トシテ臨時増置スルノ件(内令提要卷一、四八〇ノ六頁)

0769

内令
登載

内令第六百十八號
特設砲艦隊編制申左ノ通改定セラル

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五砲艦隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第六砲艦隊 第二號長安丸、第二號長江丸

(昭和十六年内令第六百二十五號參照)

内令
登載

内令第六百十九號
特設驅潛隊編制申左ノ通改定セラル

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五十七驅潛隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

内令

一七四五

0770

内令
登載

内令

一七四六

第五十八驅潜隊

第八昭南丸、第十拓南丸、厚榮丸

(昭和十六年内令第千二百五十一號参照)

内令第千六百二十號

特設掃海隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第二十五掃海隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十六掃海隊

第一京仁丸、第二京仁丸、第十八播州丸、第十昭和丸

第四十二掃海隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第四十三掃海隊

第七博多丸、姫島丸、寶永丸、第八長運丸

第四十四掃海隊ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

0771

内令提
要登載

✓ 第四十五掃海隊	第二十日出丸、第八鵜丸、六甲丸、武藏丸
第四十六掃海隊	第十八長運丸、第二十一長運丸、第五十二播州丸、第五十六播州丸

(昭和十六年内令第千二百五十二號參照)

内令第千六百二十一號

昭和十五年内令第八百二十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

横須賀鎮守府		横須賀防備隊	
魚雷艇	電纜敷設艇	哨戒艇	敷設艇
第一號、第二號、第三號、第四號、第五號、第六號	初島		猿島、浮島

内令

一七四七

0772

内令

吳鎮守府				横須賀鎮守府			
佐伯防備隊				横須賀防備隊			
電纜敷設艇	驅潛特務艇	哨戒艇	敷設艇	哨戒艇	魚雷艇	電纜敷設艇	哨戒艇
釣島	第三號、第五十一號、第五十二號、第五十三號	第三十一號、第四十六號	黒神、片島、那沙美、夏島	第一號、第二號、第三十二號、第三十三號、第三十四號、第三十五號、第三十六號、第三十七號、第三十八號、第三十九號	第一號、第二號、第三號、第四號、第五號、第六號	初島	猿島、浮島

一七四八

0773

内令
要
登
載

馬公警備府ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

吳鎮守府 佐伯防備隊		
敷設艇	哨戒艇	電纜敷設艇
黒神、片島、那沙美、夏島	第三十一號、第四十六號	釣島

ニ改メ

大阪警備府 紀伊防備隊	驅潛特務艇	第五十一號、第五十二號、第五十三號
-------------	-------	-------------------

(昭和十五年內令第八百二十二號ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ)

內令第千六百二十二號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七四九

0774

内令
要
登
載

内令

内令第六百二十三號
左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

船名	特設艦船種別	所管
汽船 第二京仁丸	特設掃海艇	横須賀鎮守府
汽船 第八長運丸	特設掃海艇	佐世保鎮守府
汽船 第十八長運丸	特設掃海艇	佐世保鎮守府
汽船 第二十一長運丸	特設掃海艇	佐世保鎮守府
漁船 第三朝洋丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第二十二南進丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第二十七南進丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第五大成丸	特設監視艇	佐世保鎮守府

11-23 12-6 11-28 11-23 11-28 12-1 12-6 12-8
46 48 68

一七五〇

0775

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

船名	特設艦船種別	所管
汽船 廣隆丸	特設運送船(給炭油船)	吳鎮守府
汽船 帝洋丸	特設運送船(給油船)	吳鎮守府
汽船 玄洋丸	特設運送船(給油船)	佐世保鎮守府
汽船 第二南俣丸	特設運送船(雜用船)	横須賀鎮守府
汽船 大順丸	特設運送船(雜用船)	横須賀鎮守府

12.6 12.6 11.20 11.22 11.16

内令提
要登載

内令第六百二十四號

右特設巡洋艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

汽船 赤城丸 11.23

右特設敷設艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

汽船 最上川丸 11.29

内令

一七五二

0776

内令

一七五二

右特設砲艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラル

右特設砲艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

右特設砲艦トシ佐世保鎮守府所管ト定メラル

汽船第一雲洋丸	汽船北	汽船でりい丸	汽船長壽山丸	汽船安州丸	汽船唐山丸	汽船江	汽船松	汽船昭興丸	汽船長運丸	汽船平
11-15	11-18	11-19	11-16	11-23	11-10, 8	11-3	11-29	11-24	11-30	11-28

0777

内令
要
登
載

右特設砲艦トシ舞鶴鎮守府所管ト定メラル

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第千六百二十五號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

船名	特設艦船種別	所管
汽船 樫 丸	特設捕獲網艇	横須賀鎮守府
汽船 熊 野 丸	特設捕獲網艇	佐世保鎮守府
汽船 春 川 丸	特設捕獲網艇	佐世保鎮守府
汽船 昭 勢 丸	特設防潜網艇	吳 鎮 守 府
汽船 大 黒 天 丸	特設防潜網艇	吳 鎮 守 府

内令

一七五三

0778

内令

汽船 第五京仁丸	汽船 第二十二日東丸	汽船 第二十一日東丸	汽船 研海丸	汽船 東石丸	汽船 竹東丸	汽船 三峽丸	汽船 大安丸	汽船 第二十日東丸	汽船 第十九日東丸	汽船 嘉辰丸	汽船 地久丸	汽船 日本丸	汽船 利國丸
特設掃海艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇	特設驅潛艇
横須賀鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	吳鎮守府	吳鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府
1896	1125	1127	1119	1119	1127	1119	1119	1216	1119	1126	1119	1126	1126
					外防				大長防		横防		

一七五四

0779

内令

漁船 第六黄海丸	漁船 第一黄海丸	漁船 第五輝丸	漁船 長功丸	漁船 第十二號八龍丸	漁船 第十一五十鈴丸	漁船 安波丸	漁船 天神丸	漁船 高貴丸	漁船 富士丸	漁船 第二十五日東丸	漁船 第二十三日東丸	漁船 第二日東丸	漁船 第一日東丸
特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇	特設監視艇
佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府	横須賀鎮守府
	11-21	11-21	11-23	11-22	11-13	11-24	11-22	11-26	11-24				

一七五五

0780

内令

漁船 第一	澎生丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第二	澎生丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第六	海南丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第七	海南丸	特設監視艇	佐世保鎮守府
漁船 第三	日向丸	特設監視艇	佐世保鎮守府

12.5 11.17 11.22 11.24

178分

一七五六

○正誤



本年内令第五百八號中「出仕」ハ「附」ノ誤

本年内令第五百十一號中末尾ノ「加へ、舞鶴鎮守府第二特別陸戰隊ノ項」三「三」ヲ「二」ニ、一九

ヲ「七」ニ改ム」ハ「加フ」ノ誤

0781

内令第千六百二十六號

昭和十二年内令第二百四十九號東京海軍通信隊ノ項中「二人」ヲ「一人」ニ改ム

昭和十六年内令第千二百七十五號高雄海軍通信隊(新庄分遣隊勤務)ノ項中「六人」ヲ「十四人」

ニ、「四」ヲ「一〇」ニ改ム

同年内令第七七十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵 曹、水 兵

四十人(掌電信兵

〔吳鎮守府在籍者 二一
佐世保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者 五八〕

昭和十二年内令第百四十九號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時増設ノ件

参照 昭和十六年内令第千二百七十五號ハ第六艦隊司令部等ノ人員臨時増設ノ件

同年内令第七七十七號ハ東京海軍通信隊(大和田分遣隊勤務)ニ人員臨時増設ノ件

内令第千六百二十七號

昭和十六年内令第千五百二號兵曹、水兵ノ項中「百十四人」ヲ「百三十九人」ニ、掌砲兵ノ項中

内 令

一七五七

0782

内令

一七五八

「二五」ヲ「二〇」ニ改ム

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ鎮海防備隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千六百二十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊防備隊

兵 曹、水 兵

十二人（掌信號兵 普三）

内令第千六百二十九號

昭和十七年内令第九二號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0783

廢止

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀第一海兵團

兵科佐尉官 附兼教官 二人

内令第六百三十號

昭和十七年四月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍航空隊

整備科特務士官、准士官 隊附兼教官(教員) 二人

整備 備 兵 曹 (教員) 十人(掌整備兵 高)

廢止

内令第六百三十一號 昭和十七年内令第六百二十九號
ニテ本號廢止
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

一七五九

0784

内令

一七六〇

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海南警備府

整備兵曹

三人

内令第六百三十二號

昭和十六年内令第二百五十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍警備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「成田丸、福長丸、第二號桐丸、第七琴平丸、第一振興丸、第三月浦丸、慶祥丸、萬壽丸、和風丸」ヲ加フ

横須賀防備隊ノ項特設捕獲網艇ノ欄ニ「満つ丸」ヲ、同特設驅潜艇ノ欄ニ「素水丸、通海丸」ヲ加

フ

大湊防備隊ノ項特設敷設艇ノ欄ニ「うらら丸」ヲ加フ

0785

佐伯防備隊ノ項特設捕獲網艇ノ欄ニ「大衆丸」ヲ、同特設驅潛艇ノ欄ニ「二水丸、第十五長運丸、大屯丸、新港丸」ヲ加フ

紀伊防備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「第五長勝丸、第三盛松丸、第五高尾丸、松生丸、第三正丸、第五福壽丸」ヲ加フ

舞鶴海軍警備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「平和丸、東洋丸、大信丸、麗光丸」ヲ加フ

佐世保海軍警備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「呂宋丸、榆林丸、第十三長運丸、長久丸、第五大成丸、高城丸、山彌丸、第三昭和丸、喜洋丸、有幸丸、第二號日出丸」ヲ加フ

鎮海防備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

隊備防津羅	第二號桐丸	八仙丸	筑前丸 第十一與漁丸 第十二與漁丸

馬公防備隊ノ項特設捕獲網艇ノ欄ニ「第二日の丸、第三東洋丸」ヲ、同特設驅潛艇ノ欄ニ「朗洋丸、旺洋丸、白眉丸」ヲ、同特設監視艇ノ欄ニ「第三朝洋丸、第十六南進丸、第二十二南進丸、第二十

内令

一七六一

0786

内令

一七六一

七南進丸、第三十三南進丸、第三十五南進丸、第三十八南進丸ヲ加フ

参照 昭和十六年内令第千二百五十三號ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第千六百三十三號

昭和十六年内令第千四十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

17)	1090	1220	(1321)
"	1120	1242	(1323)
"	1145	1265	(1325)
"	1180	1289	(1403)
"	1190	1319	(1425)

別表第一横須賀鎮守府ノ部中横須賀防備隊ノ項兵科分隊長ノ欄「五」ヲ「八」ニ、大湊防備隊ノ項

兵科分隊長ノ欄「二」ヲ「三」ニ改ム

同吳鎮守府ノ部中吳海軍軍需部ノ項機關科分隊長ノ欄ニ「(部員)一」ヲ加ヘ佐伯防備隊ノ項兵科

分隊長ノ欄「六」ヲ「九」ニ改ム

同佐世保鎮守府ノ部中佐世保防備隊ノ項兵科分隊長ノ欄「三」ヲ「六」ニ改ム

同舞鶴鎮守府ノ部中舞鶴海軍警備隊ノ項主計科尉官ノ欄ニ「一」ヲ加フ

別表第二横須賀鎮守府ノ部中明治丸ノ項ノ次ニ

0787

内令

ル、第五砲艦隊ノ項ノ次ニ

長運丸	一								
平壤丸	一								

ヲ加へ長安丸及長江丸ノ項ヲ削

第六砲艦隊	二(各艦)								

ヲ、第二十五掃海隊ノ項ノ次ニ

第二十六掃海隊									

ヲ加フ

同吳鎮守府ノ部中清澄丸ノ項ノ次ニ

赤城丸	通	一							

ヲ、天洋丸ノ項ノ次ニ

最上川丸	砲機	二							

ヲ、香港丸ノ項ノ次ニ

昭興丸		一							
第二號松榮丸		一							

ヲ加フ

内令

同佐世保鎮守府ノ部中長沙丸ノ項ノ次ニ

唐山丸	／																			
長壽山丸	—																			
でりい丸	—																			
北京丸	—																			
安州丸	—																			

ノ如ク改ム

第四十三 掃海隊																				
第四十四 掃海隊																				
第四十五 掃海隊																				
第四十六 掃海隊																				

同舞鶴鎮守府ノ部中香取丸ノ項ノ次ニ

ヲ加ヘ、第四十四掃海隊ノ項ヲ左

0789

内令
要登載

第 一
雲 洋 丸

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツル位置ヲ定ムルノ件ナリ

内令第六百三十四號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十六年十二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

船名	特設艦船種別	所管
汽船 日立丸	特設運送船(給兵船)	吳鎮守府
汽船 大井丸	特設運送船(給糧船)	佐世保鎮守府
汽船 湊丸	特設運送船(給糧船)	舞鶴鎮守府
汽船 田子の浦丸	特設運送船(給炭油船)	横須賀鎮守府
汽船 廣盛丸	特設運送船(給炭油船)	佐世保鎮守府

内令

一七六五

0790

内令

汽船 興 ^老 東丸	汽船 金泉丸	汽船 富士山丸
特設運送船(雜用船)	特設運送船(雜用船)	特設運送船(給油船)
佐世保鎮守府	佐世保鎮守府	吳鎮守府

1123 1126 1122

一七六六

0791

内令
要
登
載

内令第六百三十五號
未成ノ第三十四號驅潜艇ノ定員表(假定)ハ第十三號驅潜艇ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス
昭和十六年十二月十二日
海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第六百三十六號
昭和八年内令第二百三十八號別表中左ノ通改正ス
昭和十六年十二月十二日
海軍大臣 嶋田 繁太郎

計畫安全潜航深度ノ八割ノ項中「伊號第三」ノ下ニ「伊號第四」ヲ「伊號第五十六」ノ下ニ「伊號第五十七」ヲ「伊號第五十八」ノ下ニ「伊號第六十」ヲ加フ
計畫安全潜航深度ノ九割ノ項中「伊號第五」ノ次ニ「伊號第五十五」ヲ加ヘ「伊號第四、伊號第五十七、伊號第六十」ヲ削ル

参照 昭和八年内令第二百三十八號ハ潜水艦ノ安全潜航深度制限ノ件ナリ(内令提要卷三、一六五頁)

内令

一七六七

0792

内令提
要登載

内令第六百三十七號

熱帯地衛生防疫教範草案別冊ノ通定メ之ヲ試行ス

別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第六百三十八號

潜水艦操艦操式草案別冊ノ通定メ之ヲ試行セシム

別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第六百三十九號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七六九

0793

内令

一七七〇

軍艦、砲艦橋立型ノ項ノ次ニ左ノ項ヲ加フ

多
多
良

(内令提要卷三、三三三頁参照)

内令提要
登録

内令第六百四十號

海軍工廠ニ置ク所要ノ部中左ノ通改正セラル

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

豊川海軍工廠ノ項中「機銃部、」ノ下ニ「光學部、」ヲ加フ

(内令提要卷一、二四ノ二頁参照)

内令提要
登録

内令第六百四十一號

海軍工廠處務規程中左ノ通改正ス

0794

要
令
提
登
載

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九條ノ二 光學部ハ光學兵器ノ造修ニ關スルコトヲ掌ル
第十七條中「機銃部、」ノ下ニ「光學部、」ヲ加フ

(内令提要卷一、二四ノ五頁参照)

内令第六百四十二號

特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十九條中「軍屬」ノ下ニ「(固有船員タルモノヲ除ク)」ヲ加フ

第四十六條 船長ハ一般ノ法規ニ從ヒ固有船員ヲ指揮監督シ病院長ノ特ニ指示スル事項ノ外船務ヲ

處理シ又其ノ船ノ進退ニ關シテハ病院長ノ指示、命令ヲ承クヘシ

第四十六條ノ二 船長以外ノ固有船員ハ病院長ノ特ニ指示スル事項ノ外船長ノ命ヲ承ケ服務ス

内
令

一七七

0795

内令

(内令提要卷一、四七頁参照)

内令第六百四十三號

昭和十六年内令第四十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第一吳鎮守府ノ部中第二十二號驅潛艇ノ項ノ次ニ

第二十五號驅潛艇
一

ヲ加フ

同佐世保鎮守府ノ部中第二十三號驅潛艇ノ項ノ次ニ

第二十四號驅潛艇
一

ヲ、高雄海軍航空隊ノ項機關科分隊長ノ欄ニ「二」ヲ

加フ

同舞鶴鎮守府ノ部中第十九號掃海艇ノ項ノ次ニ

第二十號掃海艇
一

ヲ加フ

一七七二

0796

別表第三吳鎮守府ノ部中上海港務部ノ項ノ次ニ

第一百海軍燃料廠

員(副部)

ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第六百四十四號、

横須賀海軍工廠職員以外ノ者ヲ以テ同廠機雷實驗部長ヲ兼務中ノ期間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十六年十二月八日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍工廠

兵科 佐官 機雷實驗部員 一人

内令第六百四十五號

昭和十六年内令第六百六十二號中左ノ通改正ス

内令

一七七三

0797

内令

一七七四

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

大	佐	出仕	一人
機 關	中 少 佐	出仕	一人
機 關	少 佐	出仕	一人
機 關	少 佐、機 關 大 尉	出 仕	二人
兵 科 特 務 士 官	准 士 官	附	二人
飛 行 科 特 務 士 官	准 士 官	附	一人
整 備 科 特 務 士 官	准 士 官	附	一人
機 關 科 特 務 士 官	准 士 官	附	一人
工 作 科 特 務 士 官	准 士 官	附	一人
主 計 科 特 務 士 官	准 士 官	附	一人
兵	曹		四人 (掌砲兵一、掌帆兵一、掌電信兵一)
整 備	兵 曹		二人 (掌航器兵器一)

0798



機	關	兵	曹	一人(掌電機兵)
工	作	兵	曹	二人(掌工兵(金工又ハ鍛冶具治))
看	護	兵	曹	一人
主	計	兵	曹	二人(掌經理兵(掌衣糧兵))
水	兵、整備兵、機關兵			二十人(掌電機兵)
工	作	兵		一人(掌工兵 木具)
主	計	兵		三人(掌經理兵)

参照 前記内令ハ昭和十七年三月三十一日迄横須賀鎮守府(大井海軍航空隊(假稱)設立準備員)ニ人員臨時増置ノ件

内令第六百四十六號

昭和十六年內令第二六之號
ニテ本號廢止

昭和十七年三月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府(徳島海軍航空隊(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)

内令

一七七五

0799

内令

大	佐	出仕	一人
機關	中少佐	出仕	一人
機關	少佐、機關大尉	出仕	一人
兵科特務士官、准士官		附	二人
整備科特務士官、准士官		附	一人
機關科特務士官、准士官		附	一人
工作科特務士官、准士官		附	一人
主計科特務士官、准士官		附	一人
兵	曹		三人(掌砲兵一、掌電信兵二)
整備	兵曹		二人(掌整備兵一、掌航路兵器兵一)
機關	兵曹		二人(掌機兵一、掌砲機兵一)
工	作兵曹		二人(掌工兵一、掌木工一)
看	護兵曹		一人
主	計兵曹		二人(掌經理兵一、掌衣糧兵一)

0800



水兵、整備兵、機關兵 二十人

内令第六百四十七號

昭和十七年三月二十六日
ニテ本令停止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設航空母艦春日丸

主計科尉官 乗組 一人

内令第六百四十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍艦政本部(富山地方ノ監督事務ニ從事スベキモノ)

機關科 佐尉官、造船監督官、兼造兵監督官 一人

内令

一七七七

0801

内令提
要登載

内令

一七七八

造船科佐尉官又ハ技師	造船監督官	一人
書記	造船造兵監督書記	兼務一人
技手	造船監督助手	兼務三人
	兼造兵監督助手	

内令第六百四十九號

大正十二年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大臣官房ノ部中主計科尉官ノ下「五人」ヲ「一人」ニ改メ經理局ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

調査課	主計科尉官	五人	當分ノ間
-----	-------	----	------

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ除クベキ職及人員ノ件ナリ(内令提要卷一、四七三頁)

○正誤

秋

本年内令第千四百六十號中「第五艦隊」ハ「第八戰隊」ノ誤

0802

内令
要登載

内令第千六百五十號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第千六百五十一號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第千六百五十二號

第二十號 掃海艇

✓右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令
要登載

内令第千六百五十三號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

掃海艇定員表其ノ一中「第十九號」ノ下ニ「第二十號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七八頁参照)

内令

一七八三

0803

内令提
要登載

内令

一七八四

内令第六百五十四號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八掃海艇ノ部中「第十九號」ノ下ニ「第二十號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五四ノ六頁参照)

内令第六百五十五號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改正セララル

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府ノ部中第三艦隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

南遣艦隊 第一百一海軍工作部 佐世保又ハ南遣艦隊司令長官ノ定ムル地

0804

内令
要
登
載

吳鎮守府ノ部ヲ左ノ如ク改ム

府 守 鎮 吳			
第 三 艦 隊	支那方面艦隊		牟婁丸海軍病院
	第二遣支艦隊		特設運送船牟婁丸内
第百三海軍工作部	第二海軍工作部	第三海軍軍需部	廣東又ハ第二遣支艦隊司令長官ノ定ムル地
	第百一海軍燃料廠	吳又ハ第三艦隊司令長官ノ定ムル地	
	吳又ハ第三艦隊司令長官ノ定ムル地	徳山又ハ第三艦隊司令長官ノ定ムル地	

(内令提要卷一、三九頁参照)

内令第六百五十六號

昭和十五年内令第六百四十六號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三海軍病院及第三海軍軍需部ノ項ヲ左ノ如ク改ム

内 令

一七八五

0805

内令提
要登載

内令

一七八六

第二海軍工作部	第二遣支艦隊及其ノ他ノ艦隊各部ノ艦船及兵器並ニ工作物タル有線通信装置ノ造修ニ關スル事項
第三海軍病院	第一遣支艦隊及其ノ他ノ艦隊各部ノ患者ノ診療、諸般ノ衛生的検査及傳染病消毒並ニ各部ニ要スル治療品ノ準備、保管及供給ニ關スル事項
第一海軍工作部	南遣艦隊及其ノ他ノ艦隊各部ノ艦船及兵器並ニ工作物タル有線通信装置ノ造修ニ關スル事項
第三海軍軍需部	第三艦隊及其ノ他ノ艦隊各部ニ要スル軍需品(航空兵器ヲ除ク)ノ準備、保管及供給ニ關スル事項
第三海軍工作部	第三艦隊及其ノ他ノ艦隊各部ノ艦船及兵器並ニ工作物タル有線通信装置ノ造修ニ關スル事項

(内令提要卷一、三八ノ三四頁参照)

内令第一千六百五十七號

特設海軍航路部等ノ定員ノ件申左ノ通改正セラル

0806

内令提
要登載

(内令提要卷一、四五六ノ一四ノ二五頁参照)

内令第六百五十九號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四十八表ノ三ヲ第四十八表ノ四トス

二等巡洋艦定員表共ノ六ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、三八三頁参照)

内令提
要登載

内令第六百六十號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0808

特修兵配置表其ノ八申利根、筑摩ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

阿賀野
三〇四六二三一七〇二〇〇〇四三〇六二八三二八二〇三五二六三六三八三三六 三

同表備考ニ左ノ一號ヲ加フ

- 四 本表ノ外軍艦阿賀野ニ掌機雷兵(高機雷 一、高水湖 二)ヲ配置ス

(内令提要卷一、四四二頁参照)

内令第六百六十一號

吳鎮守府在籍

軍艦 阿賀野

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七八九

0809

特設海軍工作部定員表

(昭和十六年内令第六百五十七號)

考 備	計		附		副部 部 員		部 員		長		第一、第二、 第三、 第四	第一、第二、 第三、 第四		
	特 務 士 官	士 官	主 計 特 務 中 少 尉	工 作 特 務 中 少 尉	造 船、 造 兵 科 佐 尉 官	主 計 科 佐 尉 官	軍 醫 科 佐 尉 官	機 關 科 佐 官	機 關 大 中 佐	少 將、 機 關 大 佐				
一 必要ニ應ジ士官ニハ技師ヲ以テ充ツルコトヲ得 二 本表定員中部員又ハ副部員タル機關科佐官一人及軍醫科佐尉官ヲ除キ部長及部員又ハ副部員 ハ海軍艦政本部造船造兵監督官ヲ兼務スルモノトス 三 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得	二人	十一人	一	一	四	二	一	二	一	一				
	一人	五人	一		一	二		一		一				
	兵	判 任 文 官	下 士 官	准 士 官	主 計 兵	看 護 兵	技 書 手 記	主 計 兵 曹	看 護 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	看 護 兵 曹 長	工 作 兵 曹 長	機 關 兵 曹 長
	七人	兼務十二人	八人	三人	三	四	兼務十一	四	二	一	一	一	一	一
	四人	兼務四人	二人	二	二	兼務三	兼務一						兼務一	

二等巡洋艦 定員表 共ノ六

考	備	計		乗組	乗組	乗組	軍醫長兼分隊長	分隊長	機長	機中少佐	飛行長兼分隊長	運用長兼分隊長	通信長兼分隊長	水雷長兼分隊長	砲術長兼分隊長	航海長兼分隊長	副艦長	艦長	阿賀野	阿賀野
		特務士官	士官																	
		七人	二十九人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
				主計兵	水兵	主計兵	水兵	飛行兵	整備兵	機中兵	飛行兵	整備兵	機中兵	整備兵	機中兵	整備兵	飛行兵	整備兵		
				十九	二百五十五	五	二百五十五	九	四十九	四	六	百十五	四	一	一	一	七			
				三百九十九	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五		
				四百五十九人	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五	二百五十五		

0811

内令提
要登載

内令第六百六十二號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

昭和十六年十二月十五日

軍艦 多多良

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第六百六十三號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

砲艦定員表其五中「二見」ノ下ニ「多多良」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ三三頁参照)

内令提
要登載

内令第六百六十四號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

一七九

0812

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表共ノ十三中「二見」ノ下ニ「多多良」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五二頁参照)

内令第六百六十五號

昭和十六年内令第三百二十七號中「主計科佐尉官 出仕 一人(兼海軍省軍需局局員)」ヲ「主計科

佐尉官 出仕 一人(兼海軍省調査課課員)ニ改メ昭和十六年十二月六日ヨリ之ヲ適用ス

同年内令第七十號中「特務中少尉、兵曹長 附 二人(舞鶴鎮守府在籍者)」ヲ「特務中少尉、兵

曹長 附 二人(内舞鶴鎮守府在籍者)」ニ改メ昭和十六年十二月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照

昭和十六年内令第三百二十七號ハ海軍艦政本部ニ人員臨時増置ノ件
同年内令第七十號ハ第二潜水戦隊司令部(潜水艦ノ發射關係業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

0813